

美浜町 ゆれやすさマップ

保存版



“ゆれやすさマップ”とは、地形や地質の状況を考慮し、影響が大きいと考えられる地震について、震源となる活断層の位置や距離（長さ）、想定される地震の規模（マグニチュード）などの情報に基づき、これまでに国の機関や学識者等の研究により設定された“震源の規模や活断層までの距離とゆれの強さの関係式”を用いてゆれの大きさを計算し、地図上に表現したものです。

この『美浜町ゆれやすさマップ』は、美浜町を約50m四方のメッシュで分割し、そのメッシュごとに美浜町への影響が想定される「湖北山地断層帯北西部で発生する地震」、「三方・花折断層帯で発生する地震」、「野坂・集福寺断層帯で発生する地震」、「柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯で発生する地震」、「全国どこでも起こりうる直下型の地震」について地表における震度を計算し、それぞれの地震の計算結果の中から『最大震度』を地図上に表現しています。

※この『美浜町ゆれやすさマップ』に関するお問い合わせは、
美浜町 電話：0770-32-1111（代表）

非常時持ち出し品チェックリスト

地震発生後に避難が必要になった時に、すぐ持ち出せるように日頃から準備・点検しておきましょう。

生活用品

- 懐中電灯（予備電池）
- 携帯ラジオ（予備電池）
- 生理用品・紙おむつ
- ティッシュ（ウエットティッシュ）
- 衣類・下着（着替え）
- ロープ・ガムテープ
- その他
- 携帯電話
- タオル
- 筆記用具
- はさみ
- 雨具
- ライター・マッチ
- ペット用品、家族の写真 など

救急医療品

- ばんそうこう
- キズ薬
- かぜ薬
- 持病の薬・常備薬
- その他
- 包帯・三角巾
- 消毒薬
- 胃腸薬
- 湿布薬
- マスク、ヘルメット等の予防・安全用品 など

貴重品

- 現金（10円・100円玉も）
- 預貯金通帳
- 印鑑
- その他
- 登記識別情報（登記済証など）
- 健康保険証
- 免許証
- 家や車の鍵、キャッシュカード など

非常食

- 飲料水・ミネラルウォーター
- チョコレート・飴などの菓子類
- 粉ミルク（赤ちゃん用）
- カップラーメン
- その他
- レトルト食品
- 缶詰
- 乾パン
- 調味料
- 卓上コンロ等の燃料、わりばし など

※その他欄は、事前に家族と話し合い、記入しておきましょう。

注意）非常時持ち出し品の重さの目安は、男性で15kg、女性で10kg程度にしましょう！

我が家の防災メモ

家族と話し合って記入しておきましょう！

世帯主	
電話	
住所	

緊急連絡先

美浜町役場	0770-32-1111（代表）
美浜消防署	119（通常時）0770-32-1114
敦賀警察署	110（通常時）0770-25-0110

親戚・知人の連絡先

氏名	電話	勤務先・学校	メモ

家族の連絡先

氏名	電話	勤務先・学校	メモ

避難場所

1	
2	

家族が離れ離れになったときの集合場所

1	
2	

家族の緊急用データ

氏名	生年月日	血液型	アレルギー	常備薬	病気

携帯電話による
災害用伝言版
サービス

NTT災害用
伝言ダイヤル
171



マップができるまでの流れ

マップ作成の目的

平成16年に発生した新潟県中越地震（震度7）、平成17年に発生した福岡県西方沖地震（震度6弱）、平成19年に発生した能登半島地震（震度6強）、新潟県中越沖地震（震度6強）、平成20年に発生した岩手・宮城内陸地震（震度6強）など、近年、家屋の倒壊や人的被害を伴う大きな地震が頻繁に発生しています。

この『美浜町ゆれやすさマップ』は、地震が起こった場合、町民の方々が住んでいる場所ほどの程度の“ゆれ”が起こりうるかを知っていただくとともに、地震の怖さや地震発生時の心得をお知らせすることにより、日頃から、地震に対する防災意識を高めていただくことを目的として作成しました。

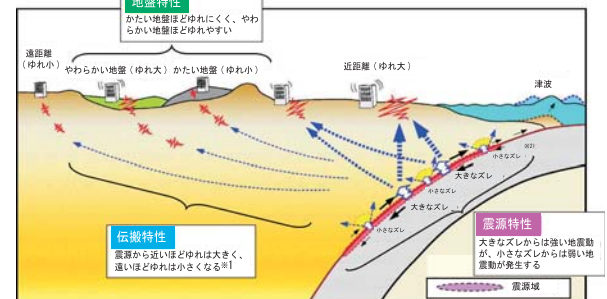
マップ作成の流れ

『美浜町ゆれやすさマップ』は、概ね以下の手順で作成しました。

- ①美浜町の地形・地質を考慮し、表層地盤のゆれやすさを設定
- ②地震調査研究推進本部における調査結果に基づき、美浜町に大きな影響を及ぼすと考えられる活断層で発生する地震と、全国どこでも起こりうる直下型地震の情報を設定
- ③各地震が発生した場合における地表での震度を、分割した50mメッシュごとに計算
- ④各50mメッシュにおいて、それぞれの地震における震度を計算し、最大値を図化
⇒最大震度分布図の作成

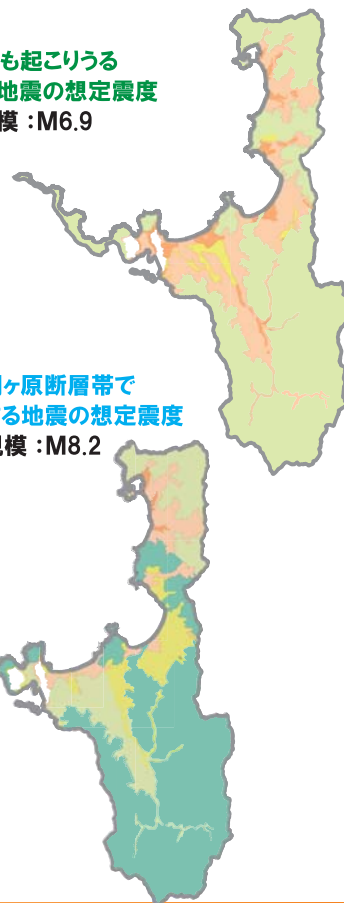
表層地盤のゆれやすさ

地震による地表でのゆれの大きさは、主に、震源断層に関する「震源特性」、震源からの地震波の伝播経路に関する「伝播特性」、表層地盤のかたさ・やわらかさに関する「地盤特性」の3つによって異なります。一般には、地震の規模（マグニチュード）が大きい（震源特性の1つ）ほど、また、震源から近い（伝播特性の1つ）ほど地震によるゆれは大きくなります。しかし、マグニチュードや震源からの距離が同じであっても、表層地盤の違い（地盤特性）によってゆれは大きく異なり、表層地盤がやわらかな場所では、かたい場所に比べてゆれは大きくなります。



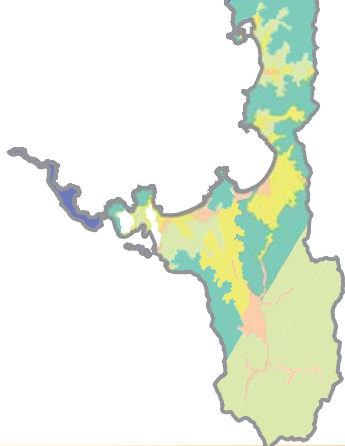
※1 震源地が断層が集中する場所などでは、震源から遠くても大きいゆれとなる場合があります。
※2 地盤は断層（震源域）の急激なずれによって生じる、一つの地震でも、震源域では、大きなゆれを生じる場所や小さなゆれを生じない場所があります。

全国どこでも起こりうる
直下型地震の想定震度
地震規模：M6.9

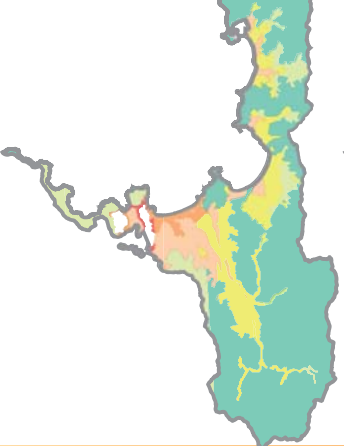


最大震度分布図

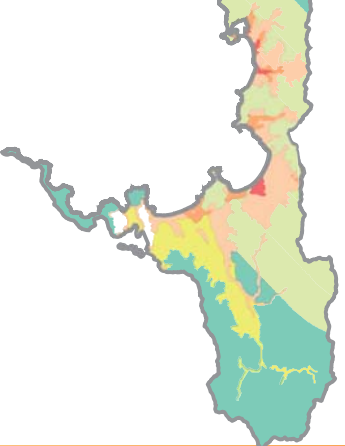
湖北山地断層帯北西部で
発生する地震の想定震度
地震規模：M7.2



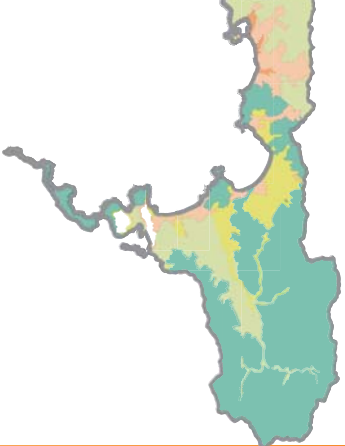
三方・花折断層帯で
発生する地震の想定震度
地震規模：M7.2



野坂・集福寺断層帯で
発生する地震の想定震度
地震規模：M7.3



柳ヶ瀬・関ヶ原断層帯で
発生する地震の想定震度
地震規模：M8.2



震度のめやす

計測震度	震度階級
4.5	5弱
5.0	5強
5.5	6弱
5.8	6強
6.0	7
6.3	
6.5	

